

# 快晴の下、ふくろうの仲間とバーベキュー

# ふくろう新聞

<発行>

特別養護老人ホーム  
淡路ふくろうの郷会  
広報委員  
洲本市中川原町  
中川原28番地1  
TEL: 0799-25-8550  
FAX: 0799-25-8551

7月4日、淡路ふくろうの郷恒例行事の一つ「バーベキュー大会」が私にとってふくろうの郷で初めて担当した行事となりました。当日まで多くの方々の協力を得ての開催となりました。



入所者、ご家族、ボランティア…みなさんと楽しいひととき



北岡さん、手話で挨拶



スイカの差し入れもありました

担当として手話やリーダーシップを執ることに不慣れな私に先輩方が優しく教えて下さり本当に嬉しかったです。もちろん淡路聴力障害者協会の皆様の協力がなくては行えなかった行事でした。天候も心配されましたが、皆さんの日々の行い、バーベキューへの意気込みが雨雲を吹き飛ばしてくれたと思っております。午前に行ったふくろう畑で収穫された野菜を集めた「神輿回し」も職員と入所者が協力して施設を回りました。



イノブタは瓦を使って焼きました

## お知らせ

7月18日に予定されておりました第5回ふくろう学習会は、都合により中止となりました。ご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。次回の予定は決まり次第お知らせします。

開会の挨拶のあと、乾杯で皆さんが楽しみにしていたバーベキューが始まりました。牛肉や野菜だけでなく、イノブタ、魚介類、おにぎりやカレー、焼きそばなどいろいろ食べることができました。

デザートには中川原地域の方からいただいたスイカもあって、入所者さん職員そろって楽しい時間を過ごせたと思います。楽しいひとときはあつとあっという間に過ぎ、閉会となりました。

無事にバーベキュー大会を終えることができ、いろいろな人の協力を得てこの大会を開催できたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも多くの行事があります、皆さんと協力して最高の行事になるよ



▲スイカもひとほおぱり



▲関西看護医療大学のみなさんと竹邊さん



▲初担当の船越職員

うこれからも頑張ってくださいませしよう。本当にありがとうございました。

(介護…船越)

# 芝田 昭さん カヨ子さん

入所者紹介



今月は花ユニットで生活されている芝田夫妻を紹介したいと思います。

☆芝田 昭様

昭和10年4月2日生まれの74歳です。

三木市で生まれ育ち、姫路聾学校を戦争のため中退され、その後は金物作りの工場で働き、35歳で妻であるカヨ子様と結婚されました。

☆芝田カヨ子様

昭和21年1月23日生まれ63歳です。

福岡県八女市で生まれ育ち、久留米聾学校中等部を卒業し、その後は縫製の仕事に就かれ、25歳で夫で

ある昭様と結婚されました。2人のお子様をもうけられました。その後、48歳のときに視力が少し悪くなりました。

淡路ふくろうの郷での生活は、夫婦仲良く暮らしておられ、お孫さんが来るのをいつも楽しみにされています。いつか夫婦で旅行にいくような援助できたらと思います

(介護…涌井)



▲2月は「巻き寿司づくり」6月は「餃子作り」と、お昼ごはんを自分でユニットで作って食べました。

## 部署紹介「栄養調理係」



現在11人で、朝昼夕の食事提供を行なっています。地産地消をモットーに、季節感ある献立と、できるだけ自分たちで手作りをし、家庭的な食事提供を心がけています。

また、毎日の食事とはちよつと違った行事食(誕生会など)では入居者さんの「おいしかった」というとびっきりの笑顔にいつも励まされています。

直営だから入居者の声を直に聞き、反映ができるので、安全で、見た目もきれいで楽しめる、おいしい食事提供ができるよう頑張っていきたいと思えます。(調理…岩林)

# おたん生日 おめでとう



もうすぐ梅雨明けの予感...。これから本格的な夏の暑さがやって来ますが、元気に頑張りましょう！

ニヒルな笑顔  
松田昌巳さん



■松田昌巳さん (80)  
昭和4年7月18日

■勝楽佐代子さん (80)  
昭和4年7月26日

■武田和代さん (68)  
昭和16年7月16日

■西田梅子さん (75)  
昭和9年7月5日

ご主人にはいつも散髪ボランティアさんでお世話になっております。  
武田和代さん



とっても手先の器用な  
勝楽佐代子さん



頼れる看護主任  
定田啓子 ▼



▲優しい笑顔  
田中利香 (介護)



ユニットでトランプ中の  
西田梅子さん



▲結婚おめでとう！  
堀井将義 (介護)

◇ボランティアさん紹介  
**佐藤智也子さん**  
 ～書道講座～



▲左から3人目が佐藤さんです。

毎月第2・4火曜日の朝に書道講座が開かれます。毎回、ボランティアで来てくださっている佐藤智也子さんが書道教授の資格を持っておられ、講座を開いて入所者さんに教えてくださっています。しかし、佐藤さんはパーキンソン病を患っておられ、体の機能が落ちていく一方です。それでも書道講座を始めようと思ったきっかけは、淡路ふくろうの郷が建つ以前に、手話学習会で大矢さん(現淡路ふくろうの郷 施設長)に出会い、「人生、夢を失った

ら駄目!ふくろうができたら書道講座の講師をやってみなさい」と励ましてもらい、それで佐藤さんは書道講座の講師になることを決意されました。

「最近、手が痛くなり、段々と動かなくなってきた。医者からも、もうすぐ体が動かなくなると言われた」とおっしゃっていましたが、できる限りは続けたいという希望を持って、毎回欠かさず来られています。

「みんな真剣に取り組んでいます。入所者さんとの心と心の交流...」

私たち職員も書道ボランティアさんや入所者さんが同じ時間を共有し、お互い楽しく学び、充実した毎日を生きられるよう支援していきたいです。

(介護:田中愛里)



▲丁寧に教えて下さいます。

## 理事リレーエッセイ

～理事 小林 泉～

淡路ふくろうの郷が開所して3年。同時期に施行した障害者自立支援法も3年になり、与党プロジェクトチームは、障害者団体等からの要望を受け、介護保険との統合を想定した応益負担を解消し、応益負担に転換する方針を取りまとめ、その見直し法案を3月31日に閣議決定を経て、国会に上程された。残念ながら表面的な修正で終わったという印象がぬぐえない。

内容によると施行前から最大の問題点である「応益負担」の仕組みが表現を変えて明確に残っている。

今回の見直し作業の根拠である障害の範囲として、高次脳機能障害と難病による障害等を障害として認められず、所得保障の見直しは先送り、障害程度区分や相談支援体制などについては介護保険制度との統合への道筋が残っているという感じがする。

「福祉はサービス、サービスは買うものだから利用者は自己負担が当たり前」、「障害を『自己責任』として負担を課す」、

「日払い方式や障害程度区分など障害分野にかける公費を抑制する仕組み」という考えを相変わらず繰り返しているが、これは、憲法25条に規定された国民の生存権を脅かしかねない。働くことや生きるために不可欠な支援に利用料を課すことを前提とするという誤った考えを改めるべきである。

**あじさいの花が満開です**

今年も淡路ふくろうの郷の裏庭では、ボランティアの森本さんが丹精こめて育てくれました。紫陽花あじさいが見事に満開です。

いったん障害者自立支援法は廃止し、「応益負担」を直ちに撤廃すべきである。憲法25条と障害者の権利条約に基づく新しい法制度として整備するよう引き続き求めていく必要があるだろう。

現在、この兵庫ではろう重複障害者、ろう高齢者に配慮した作業所等の事業所が続々と立されているが、「暮らしの場」であるグループホームやケアホーム等の入所施設がまだ整備されていない。

そのため「親亡き後をどうするか」「親が高齢のため介護出来ないときはどうするか」「介護放棄されたとき...」など各作業所だけでなく、県下各協会に深刻な相談事が急増している。

近隣の京都では聴覚障害者を対象とした「いこいの村 栗の木寮」、大阪では「なかまの里」がそれぞれに整備され、ろう重複障害の利用者に具体的な体験を通して豊かな情報保障をし、「人として」の豊かな人生を築くために、様々な取り組みをしている。

今まで、京都や大阪に足りないところを支えてもらうことで経過してきたが、「暮らしの場」の存在目的、必要性などを広く知って頂き、「ケアホーム」、「グループホーム」等の入所施設の設定が緊急の課題である。

# 地域を語る

## 第7回 才藏地蔵と縄騒動

さいぞうじぞう なわそうどう

洲本実業高校前を通り中川原に通じる市道洲本中川原線は、江戸時代に岩屋街道とよばれた幹線道であった。その途中、三木田と中川原の境界近く道沿いのコンクリート造の堂内に一体の石像が安置されている。地元で「才藏地蔵」とよばれる石像は、今から約230年前の江戸時代中期、天明2年(1782)におこった百姓一揆「縄騒動」で処刑された広田宮村(現広田広田)の才藏の供養のために天明4年(1784)に農民たちの手でこの地に建立されたものである。「縄騒動」の主な原因は、過酷な縄の供出命令である。淡路中の百姓に縄を製造し大坂(大阪)へ出荷するようにお触れが出された。当時商業都市大坂では、米俵や荷造り用に縄の需要が高かった。縄の供出は1件の漏れも無いよう徹底されたが、縄の規格が厳格すぎ、出荷した多くが返品された。

過酷な年貢に加え百姓の生活に大きな負担となった。ついに事態を打開するため、天明2年5月、宮村の才藏と山添村の清左衛門を中心に数千人とも言われる規模の一揆が起こった。暴動化することはなく、農民の要求は受け入れられ、新法は廃止、役人は処分された。

しかし、首謀者として「才藏」「清左衛門」の2人は捕らえられ、責任を問われ獄中で処刑された。翌年、2人の犠牲の上に人々は安堵できたとし、菩提を弔うため地蔵が祀られることが許されず、密かに「百姓を守る地蔵さん」として信仰を集めてきた。今年も尚、毎年7月23日には地元三木田の住民により供養が行われている。能満山松亀寺 平松秀文 文職



お堂は施設されておらず、どなたでもお参りができます。

## みんなを着よう

ふくろう T シャツのデザインが新しくなりました!色は、黒・紺・赤・桃・青・黄・茶・ラベンダーの全8色です(ご希望の場合、白もご用意できます)

HPにもアップしていますので、色選びの参考になさってください。

みなさん!今年の夏着は「ふくろう T シャツ」でよろしくお祈りします!



↑左胸に小さなふくろう。

背中には大きなふくろう、そして「淡路ふくろうの郷」の文字。

サイズは SS・S・M・L・XL の5種類。

頒価は 1,200 円です。

ふくろうの入所者さんや職員も着ています。

## 職員互助会・ボーリング大会



↑6月27日(土)

上手な人も苦手な人も、人数合わせの人も、参加することに意義がある!二日に分けて、互助会主催のボーリング大会が行われました。(2回とも参加の人もいましたよ)

一位の賞品は「ふくろう T シャツの引換券」です。素晴らしいですね。みんなで楽しめた行事でした。 ←7月2日(木)



## ふくろう喫茶よりお知らせ

ふくろう喫茶でふくろうの郷の入所者さんと楽しい時間を過ごしませんか。

◆開催日時:8月23日(日)13:00~15:00

コーヒー・ココア・紅茶・カルピスなどなど1杯¥200より

<各種お問い合わせはこちらまで>  
淡路ふくろうの郷 森岡  
TEL:0799-25-8550  
FAX:0799-25-8551



## 始まりました!ふくろう手芸講座

第1回は「つまようじ入れ」、第2回は「瓶を使った小物入れ」を作りました。これからも定期的開催し、作品の販売もしていきたいと思っております。

みなさんも一緒に作業しませんか?協力してくださるボランティアさんを募集しています。

